

# 「プラ成形」で学生初の「技能士」

## 山大王の2女学生が快挙

国家検定制度「技能検定」で、山形大学大学院有機材料システム研究科1年の佐藤優さん(22)と宮城県出身の金子千紘さん(22)と栃木県出身の2人が「プラスチック成形

の中級技能レベル「2級技能士」を取得した。同職種分野で学部生・大学院生が合格したのは、全国初という。技能検定は、働くうえで必要とされる技能習得レベルを評価

する国家検定制度。機械加工や建築大工など126職種の試験が実施されており、合格すると「技能士」を名乗ることができる。2人が合格したのは、プラスチック成形

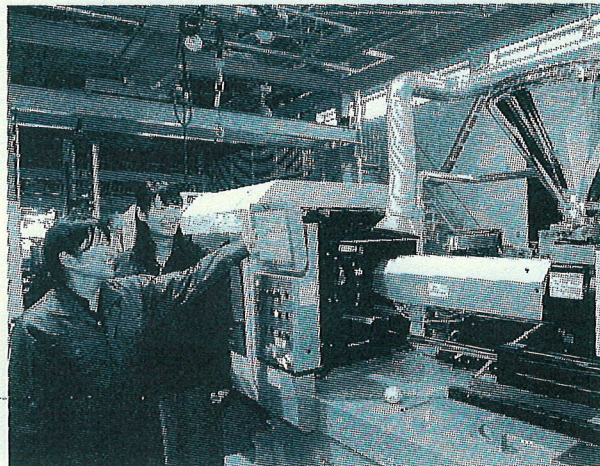
のうち「射出成形作業」。金型に樹脂を流して製品を作る射出成形機を用い、時間内にまとまった数の良品を作る技能が検査された。安定的製造は難しく、受検者のほとんどが実務経験者。県内では例年約80人が挑み、合格率は3〜4割という。

最先端のプラスチック成形加工などに取り組む、伊藤浩志研究室に所属している2人。佐藤さんが射出成形を研究していることが縁で、ゴムを研究している金子さんと初受検した。置賜地域では同大工学部などが会場となり、6月に実技、8月に学科試験があった。

佐藤さんは大型の射出成形機を普段使わず、金子さんは素人同然。研究とは異なる「実務」を想定した内容に戸惑いながらも、5月ごろから本格的に練習に励んだ。互いに教え合い、技術官の指導を受けて挑み、9月に合格の知らせを受けた。

佐藤さんは「研究と勝手が違い苦労したが、社会に出る時、実務が分かっていることは力になるはず」、金子さんは「もともと興味があった分野。これからの研究でも役立つていくと思う」と喜びとともに展望を話していた。

2017年11月7日 掲載



射出成形機の前で合格を喜び合う、左から金子さんと佐藤さん

### 今回はどんなプラン?

#### 11日に「まちづくりプラン大賞」コンペ

米沢市教委の今年度まちづくりプラン大賞コンペティション(発表会)審査会は、11日午後1時から、云雀のみんなて審査し総額80万円を助成する、というもの。プランの発表には7個人団体、前年度受賞者より受賞